

令和7年度第1回浜松市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和7年7月15日（火） 午後2時から午後3時まで
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階802会議室
- 3 出席状況
- | | |
|------|--------------------------|
| 出席委員 | 太田正義（常葉大学 准教授） |
| | 藤田晴康（（公財）浜松市スポーツ協会 常務理事） |
| | 伊藤裕子（（一社）ぺんぎん村水泳教室 代表） |
| | 影山ちか（浜松市中学校体育連盟 会長） |
| | 中村竜久（浜松市小学校体育連合 会長） |
| 欠席委員 | 浅井陽介（（一社）浜松市医師会 理事） |
| | 宮崎正（浜松市立高等学校 校長） |
| | 恩田かおり（浜松市幼稚園長会 会長） |
| 事務局 | 杉田実良 スポーツ振興担当部長 |
| | 栗田豪 スポーツ振興課長 |
| | 松本淳一 スポーツ振興課課長補佐 |
| | 小柳卓也 スポーツ振興課戦略グループ長 |
| | 鈴木一隆 スポーツ振興課施設グループ長 |
| | 大東たかし スポーツ振興課コミッショングループ長 |
- 4 傍聴者 1人
- 5 議 事 (1) 第2期浜松市スポーツ推進計画の評価について
(2) 浜松市スポーツ推進ビジョンの取組について
(第3期浜松市スポーツ推進計画)
- 6 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音
- 7 発言内容

<開会>

1 会長挨拶

2 スポーツ振興担当部長挨拶

3 議 事

(1) 第2期浜松市スポーツ推進計画の評価について

(太田会長)

議事（１）について、事務局から説明願う。

（小柳戦略グループ長）

<資料に基づき説明>

（太田会長）

ご意見、ご質問あればお願いしたい。

（藤田委員）

資料 1-2 の目標値に対して未達となっているが、なにかコメントがあるか。

（太田会長）

補足説明させていただく。第 1 期計画では目標設定はせず、第 2 期計画では目標を設定した。新型コロナウイルスの影響によりスポーツとの関りが変わったこと、スポーツ実施率の算定方法にも議論の余地があることから、数値目標は参考程度と考えて欲しい。

（小柳戦略グループ長）

太田会長のおっしゃるとおり、コロナ禍でのスポーツ実施は変化したが、今後は目標に近づけるような政策を行っていききたい。

（２）浜松市スポーツ推進ビジョンの取組について

（太田会長）

議事（２）について、事務局から説明願う。

（小柳副主幹）

<資料に基づき説明>

（太田会長）

ご意見、ご質問あればお願いしたい。

（伊藤委員）

3 年前の審議会でも提案させていただいたが、子どもたちがパラスポーツを行いたいと思った際に、スポーツ用車いすは購入というハードルがある。市としてスポーツ用車いすの貸し出しを検討してほしい。

（杉田スポーツ振興担当部長）

ニーズがありそうな提案だと感じる。こういった道具を貸し出すのがベストなのかも含め、課内で検討させていただきたい。

(中村委員)

インクルーシブスポーツプラットフォームの立ち上げがなされたと聞いているが、その後進展はあるのか？

(栗田課長)

現在、活動内容の検討段階である。方向性としては、一つはプロスポーツ団体のいわゆるトップレベルの方に必要な連携。もう一つは、浜松市民のスポーツのすそ野を広げるために、この連携をどのように活用できるのかを検討中。今年度秋ごろには、取組について見える化をしていきたいと考えている。

(伊藤委員)

市のホームページや SNS で、デフリンピックに参加される方々に対する手話での挨拶の紹介動画の掲載などを検討して欲しい。

(杉田スポーツ振興担当部長)

現在、市民のとの交流について事業者から提案を受けており、手話でのご挨拶も併せて検討していく。

(太田会長)

2点お願いがある。

一つは、都市型スポーツでスケートボードの活動可能場所等について、公園整備所管の仕事だというのは承知しているが、スポーツ実施率に関わってくる所なので情報を提供していただきたい。例えば、関西ではスポーツ婚活についてもスポーツ審議会で行っている。スポーツ振興課の所管以外の事でも、幅広く情報提供をお願いしたい。

もう一つは、市内のニーズ調査をすると 30～40 代の男性についてスポーツ実施率が落ちている。軽スポーツ（ウォーキング、ランニング、ジョギング）なら実施しやすいとの回答もある。スポーツ実施率を向上させるにはスポーツが出来ていない層への提案も有効だと考えられる。ハイキングコースやシティウォーキングマップの作成など検討してみてはどうか。

(杉田スポーツ振興担当部長)

スポーツ婚活については民間の婚活イベントや地域振興の取組などで行われており、コミュニケーションの手段としては有効だと捉えている。

軽スポーツについては、スポーツ協会、スポーツ推進委員、体育振興会などの地域に根ざした団体との連携をしていきたい。これらの団体の活動もニーズを捉えたものにしていかないといけないと思う。

(藤田委員)

資料 2-2 の基準値について、何点満点なのか？

(栗田課長)

点数としては 5 点満点のアンケート調査である。

(藤田委員)

5 点満点中だとすると点数が低いように感じる。

(栗田課長)

少しでも高い点数になるよう進めていく。

(太田会長)

区ごと、年代ごとの市民アンケート結果のデータがあると思うので、結果が出たらご提供いただきたい。

これで議事は終了し、進行を事務局にお返しする。

(松本課長補佐)

議事録は追って、委員に送付させていただく。

4 報告事項

サーフィン国際大会「スマトラン・サーファリーズ・ハママツオープン」
について

(大東コミッショングループ長)

大会の概要について、ダイジェスト動画等を用いて説明。

(栗田課長)

マリンスポーツの聖地を目指すにはソフト事業が課題と考えている。こういった事業を市民の方に実施していただけるのは大変ありがたい。1回で終わることなく今後も継続できるよう、市として出来ることに取り組んでいきたい。

<閉会>